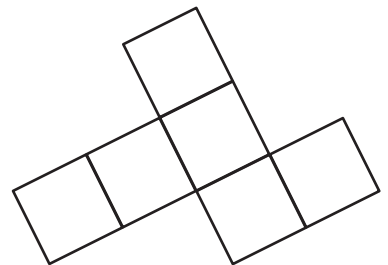
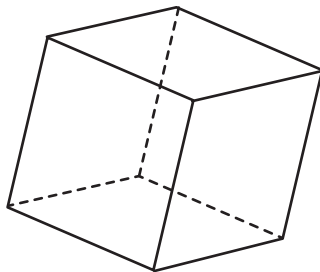
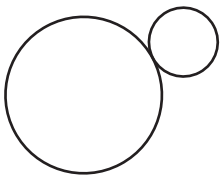
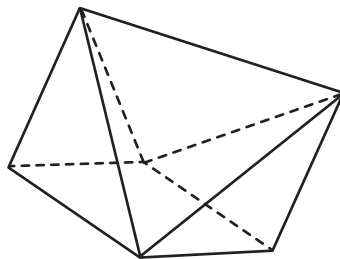
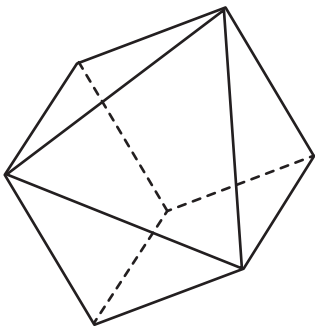


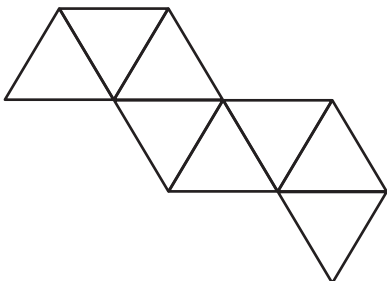
# 1万までの数と計算



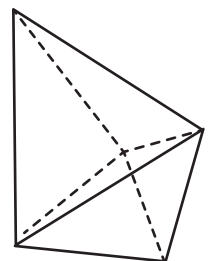
2



5



3



# 1章 1000までの数と計算

この章では、＜100までの数と計算＞における命数法・記数法が、1000までにおいても成り立つということを確認します。

下記のような順番で、1000までの数量を実感させ、数量の名づけ方（命数法）と記し方（記数法）を理解させます。そして、和が1000までの加法をします。特に、下2桁の和が100を超える時の計算方法に注意が必要です。さらに、1000までの減法もできるようにします。

## ●100単位で1000までの数量を実感させる。

ドット棒C型の100ドット用紙を使って、指導者が台紙の上で

『これが100です。100ドットが1枚で100です。』

『これが200です。100ドットが2枚で200です。』

と言いながら100ドットを並べ、数量を見せ、その数を答えさせます。覚え込ませるのではなく、頭の中に数量感を作るのだということをくれぐれも忘れずに指導してください。

## ●1～1000までの数量を実感させる。

（100ドットを○枚、10ドットを○本、10までのドットを○個と言うように統一しておくとう便利です。）はじめに指導者は1の位や10の位が0でない数量を作り、『300と20と1で、321』などと言いながら生徒に見せます。次に、『これはいくつでしょう。』と言いながら、539を台紙の上で作し、生徒に数量を答えさせます。答えの正誤にかかわらず、繰り返し行い、頭の中での台紙の上にイメージできるようにします。

## ●1～1000までの数量を作らせる。

指導者が言う数量を、台紙の上に作らせます。この場合もいろいろな問題を出し、完全にできるまで繰り返してください。

## ●数量を数字で記す記数法を指導する。

数を量としてとらえることができれば、数量を数字で記すことを教えてください。台紙の上に321などを作って数量を言わせ、それを書かせます。慣れてきたら、生徒自身に並べた数量の下に数字を書かせてください。

●下2桁の和が100を超えるときの計算をさせる。

【例題1】

$215 + 334 \Rightarrow 215$ を200と15、 $334$ を300と34にそれぞれ分解し、200と300で500、 $15 + 34$ の答えに500をたします。

【例題2】

$184 + 224 \Rightarrow 184$ を100と84、 $224$ を200と24にそれぞれ分解し、100と200で300、84に24のうちの16をたすと100になり、さらに100増えて400、それに残った8をたします。

●補数関係を問う計算をさせる。

ドット棒をイメージしながら、瞬時に答えさせるようにします。

●100～900から9、99、199などをひいた答えの求め方について考えさせる。

【例題1】

$400 - 9$ や $400 - 99 \Rightarrow 400$ を100と300に分解し、 $100 - 9$ や $100 - 99$ の答えに300をたします。

【例題2】

$400 - 199 \Rightarrow 100 - 99$ に注目します。【例題1】同様、400を300と100、199を100と99に分解し、 $300 - 100$ 、 $100 - 99$ をそれぞれ計算し、その答えの200と1をたします。

●1000までの減法をさせる。

【例題1】

$403 - 6 \Rightarrow 6$ を3と3に分解し、403から3をひいて400。そこから残りの3をひきます。

【例題2】

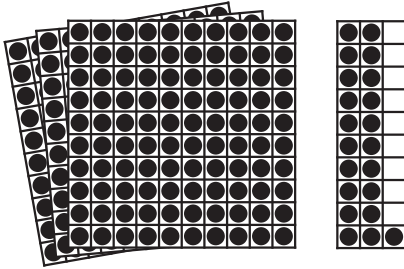
$627 - 289 \Rightarrow 627$ を600と27、 $289$ を200と89にそれぞれ分解し、 $600 - 200$ と $27 - 89$ に分けて考えます。 $600 - 200 = 400$ 、 $27 - 89$ は計算できないので、 $600 - 200$ の答えの400のうちの100から89をひいて11。それに27をたして38。そこに残りの300をたします。

# 1

## いくつですか (1)

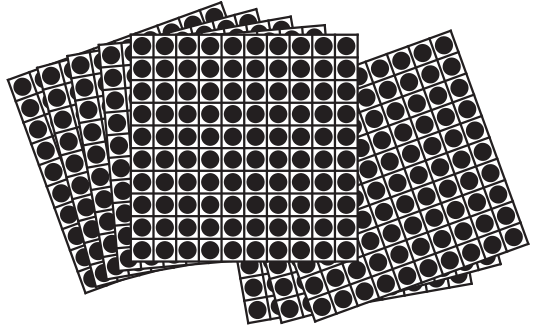
( ) の中に答えを書きなさい。

①



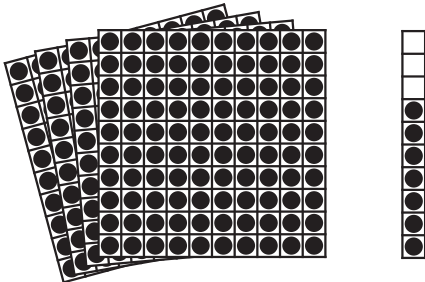
( )

④



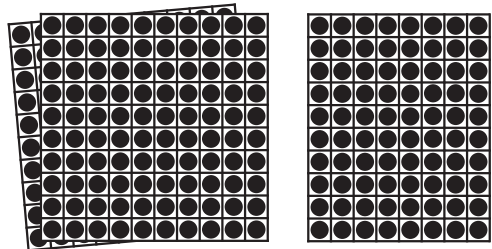
( )

②



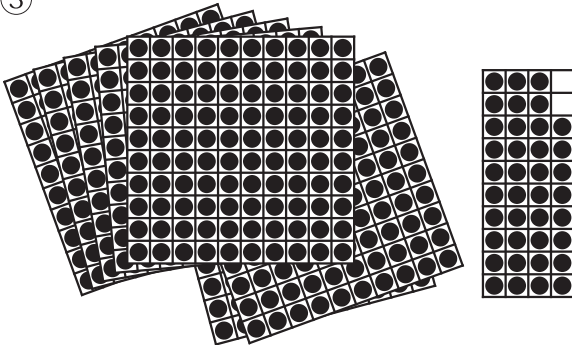
( )

⑤



( )

③



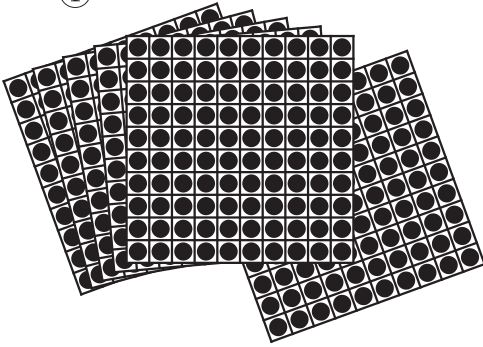
( )

# 1

## いくつですか (2)

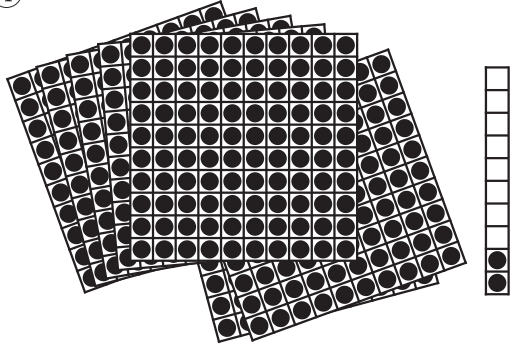
( ) の中に答えを書きなさい。

①



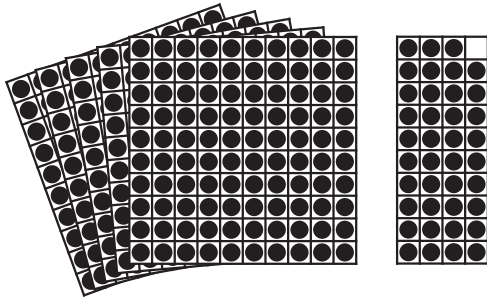
( )

④



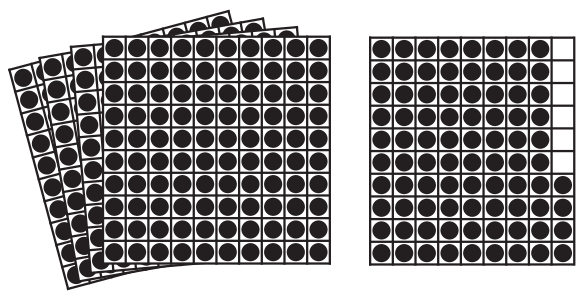
( )

②



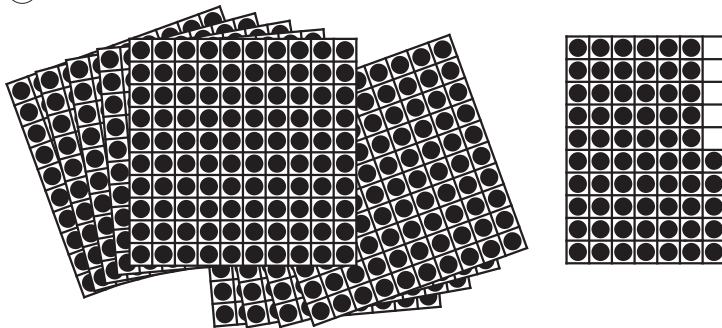
( )

⑤



( )

③



( )

## 1

## 数のなりたち (1)

( ) の中に答えを書きなさい。

- ① 100 が 8 枚と 10 が 5 本で ( ) です。
- ② 100 が 2 枚と 10 が 15 本で ( ) です。
- ③ 100 が 9 枚と 1 が 26 個で ( ) です。
- ④ 100 が 4 枚と 1 が 7 個で ( ) です。
- ⑤ 100 が 5 枚と 1 が 216 個で ( ) です。
- ⑥ 100 が 3 枚と 10 が 6 本と 1 が 5 個で  
( ) です。
- ⑦ 100 が 4 枚と 10 が 13 本と 1 が 9 個で  
( ) です。
- ⑧ 100 が 7 枚と 10 が 1 本と 1 が 24 個で  
( ) です。
- ⑨ 100 が 6 枚と 10 が 24 本と 1 が 35 個で  
( ) です。
- ⑩ 100 が 2 枚と 10 が 35 本と 1 が 251 個で  
( ) です。

## 1

## 数のなりたち (2)

( ) の中に答えを書きなさい。

- ① 500 は 100 が ( ) 枚です。
- ② 500 は 10 が ( ) 本とも いえます。
- ③ 500 は 1 が ( ) 個とも いえます。
- ④ 360 は 100 が ( ) 枚と 10 が ( ) 本です。
- ⑤ 360 は 10 が ( ) 本とも いえます。
- ⑥ 720 は 100 が ( ) 枚と 10 が ( ) 本です。
- ⑦ 720 は 10 が ( ) 本とも いえます。
- ⑧ 468 は 100 が ( ) 枚と 10 が ( ) 本と  
1 が ( ) 個です。
- ⑨ 930 は 100 が ( ) 枚と 10 が ( ) 本と  
1 が ( ) 個です。
- ⑩ 802 は 100 が ( ) 枚と 10 が ( ) 本と  
1 が ( ) 個です。

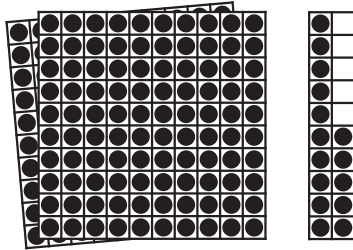
# 1

## たし算 (1)

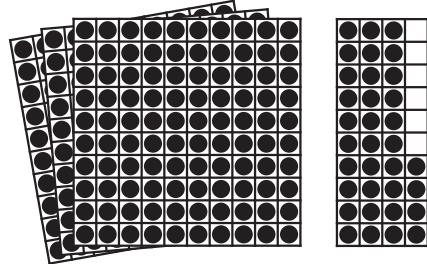
①と②をたすといくつになりますか。( )の中に式と答えを書きなさい。

1

①



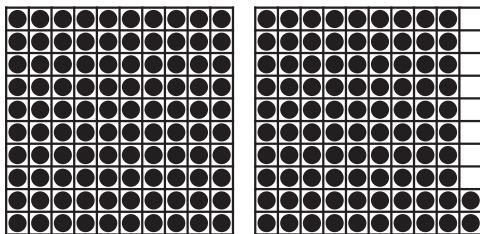
②



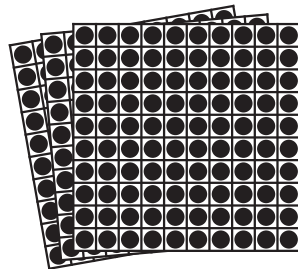
( )

2

①



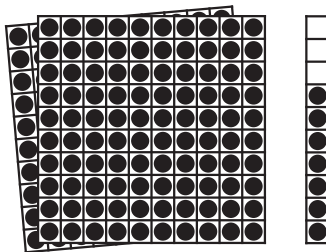
②



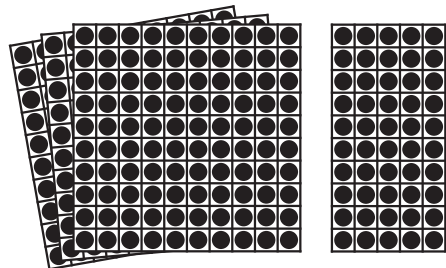
( )

3

①



②



( )



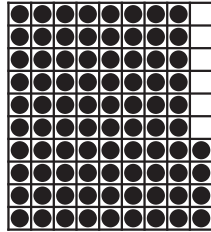
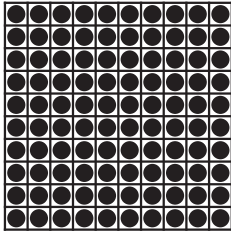
# 1

## たし算 (2)

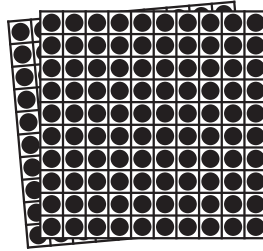
①と②をたすといくつになりますか。( )の中に式と答えを書きなさい。

1

①



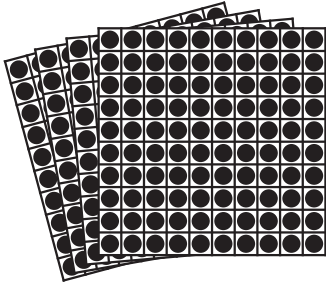
②



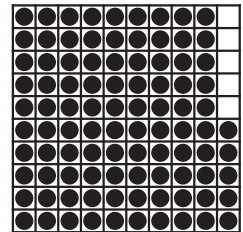
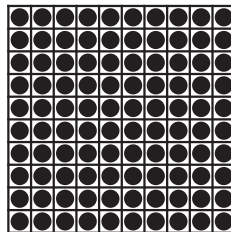
( )

2

①



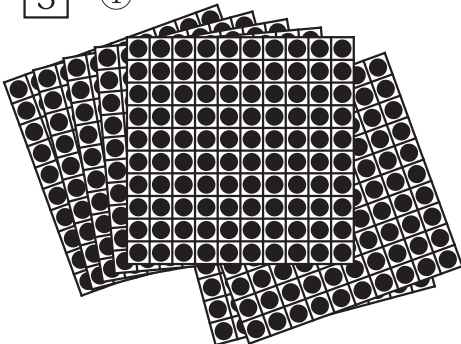
②



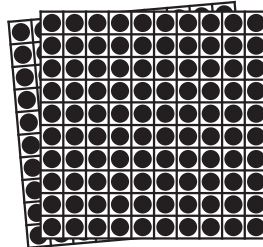
( )

3

①



②



( )

## 1

## たし算 (3)

次のたし算をなさい。

$$\textcircled{1} \quad 364 + 145 =$$

$$\textcircled{2} \quad 617 + 234 =$$

$$\textcircled{3} \quad 297 + 336 =$$

$$\textcircled{4} \quad 275 + 275 =$$

$$\textcircled{5} \quad 388 + 389 =$$

$$\textcircled{6} \quad 522 + 286 =$$

$$\textcircled{7} \quad 438 + 321 =$$

$$\textcircled{8} \quad 165 + 165 =$$

$$\textcircled{9} \quad 758 + 174 =$$

$$\textcircled{10} \quad 277 + 278 =$$

## 1

## 補数

次のひき算をなさい。

①  $400 - 9 =$

②  $400 - 99 =$

③  $400 - 399 =$

④  $500 - 200 =$

⑤  $500 - 210 =$

⑥  $500 - 216 =$

⑦  $600 - 5 =$

⑧  $600 - 55 =$

⑨  $600 - 155 =$

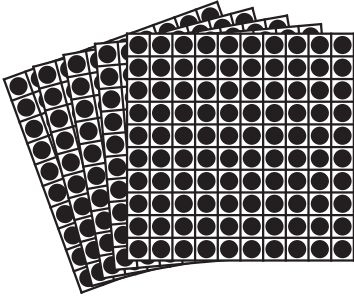
⑩  $700 - 351 =$

# 1

## ひき算 (1)

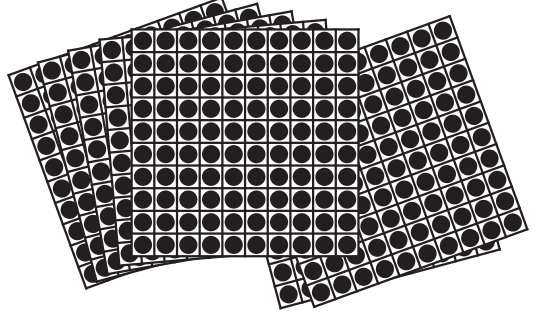
( ) の中に式と答えを書きなさい。

① 261を ひくと



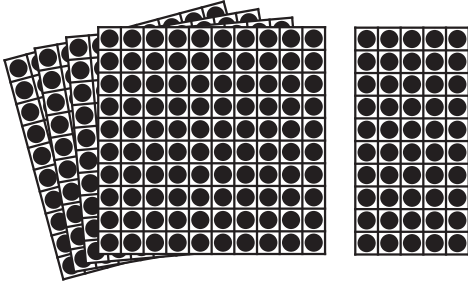
( ) ( )

④ 398を ひくと



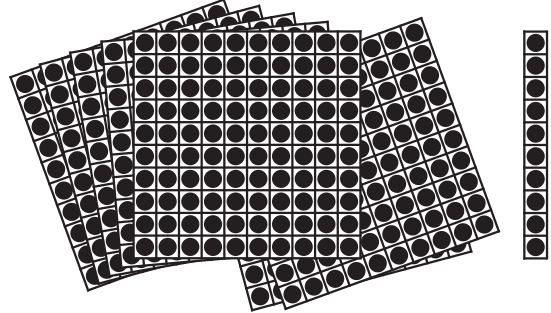
( ) ( )

② 218を ひくと



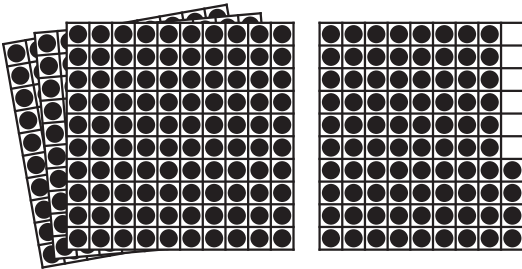
( ) ( )

⑤ 211を ひくと



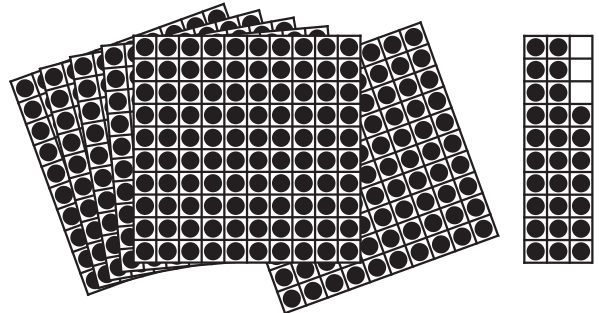
( ) ( )

③ 155を ひくと



( ) ( )

⑥ 289を ひくと



( ) ( )

## 1

## ひき算 (2)

次のひき算をなさい。

$$\textcircled{1} \quad 471 - 273 =$$

$$\textcircled{2} \quad 628 - 299 =$$

$$\textcircled{3} \quad 814 - 315 =$$

$$\textcircled{4} \quad 526 - 276 =$$

$$\textcircled{5} \quad 708 - 354 =$$

$$\textcircled{6} \quad 576 - 187 =$$

$$\textcircled{7} \quad 776 - 477 =$$

$$\textcircled{8} \quad 832 - 582 =$$

$$\textcircled{9} \quad 605 - 232 =$$

$$\textcircled{10} \quad 532 - 133 =$$

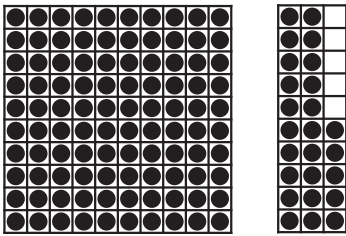
# 1

## 家庭学習 ~1日目~



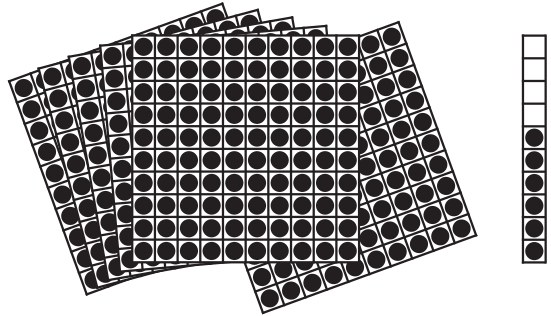
次の数はいくつですか。( )の中に答えを書きなさい。

①



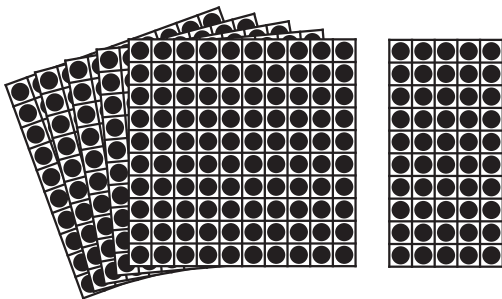
( )

④



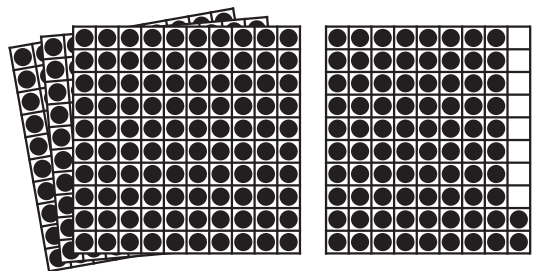
( )

②



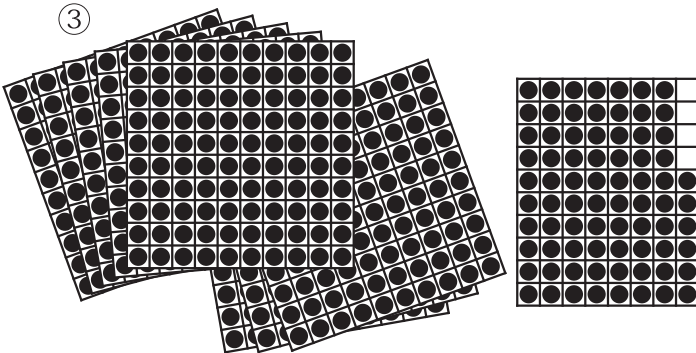
( )

⑤



( )

③



( )

## 1

## 家庭学習 ～2日目～



( ) の中に答えを書きなさい。

- ① 100 が 6 枚と 10 が 3 本で ( ) です。
- ② 100 が 8 枚と 10 が 12 本で ( ) です。
- ③ 100 が 2 枚と 1 が 56 個で ( ) です。
- ④ 100 が 3 枚と 1 が 8 個で ( ) です。
- ⑤ 100 が 7 枚と 1 が 123 個で ( ) です。
- ⑥ 100 が 2 枚と 10 が 5 本と 1 が 8 個で  
( ) です。
- ⑦ 100 が 3 枚と 10 が 16 本と 1 が 2 個で  
( ) です。
- ⑧ 100 が 4 枚と 10 が 3 本と 1 が 13 個で  
( ) です。
- ⑨ 100 が 8 枚と 10 が 12 本と 1 が 27 個で  
( ) です。
- ⑩ 100 が 3 枚と 10 が 36 本と 1 が 145 個で  
( ) です。

## 1

## 家庭学習 ～3日目～



( )の中に答えを書きなさい。

① 100が5枚と 10が7本で ( )です。

② 100が6枚と 10が22本で ( )です。

③ 100が4枚と 1が72個で ( )です。

④ 100が2枚と 1が6個で ( )です。

⑤ 100が3枚と 1が512個で ( )です。

⑥ 100が7枚と 10が20本と 1が3個で  
( )です。

⑦ 100が5枚と 10が12本と 1が7個で  
( )です。

⑧ 100が8枚と 10が2本と 1が22個で  
( )です。

⑨ 100が4枚と 10が31本と 1が45個で  
( )です。

⑩ 100が2枚と 10が52本と 1が176個で  
( )です。



## 1

## 家庭学習 ～4日目～



( )の中に答えを書きなさい。

- ① 300は 100が( )枚です。
- ② 300は 10が( )本とも いえます。
- ③ 300は 1が( )個とも いえます。
- ④ 520は 100が( )枚と 10が( )本です。
- ⑤ 520は 10が( )本とも いえます。
- ⑥ 870は 100が( )枚と 10が( )本です。
- ⑦ 870は 10が( )本とも いえます。
- ⑧ 246は 100が( )枚と 10が( )本と  
1が( )個です。
- ⑨ 450は 100が( )枚と 10が( )本と  
1が( )個です。
- ⑩ 608は 100が( )枚と 10が( )本と  
1が( )個です。

**1****家庭学習 ~5日目~**

次のひき算をなさい。

①  $500 - 8 =$

②  $800 - 29 =$

③  $900 - 177 =$

④  $500 - 88 =$

⑤  $700 - 300 =$

⑥  $700 - 310 =$

⑦  $700 - 318 =$

⑧  $600 - 249 =$

⑨  $600 - 458 =$

⑩  $500 - 288 =$



次の計算をなさい。

$$\textcircled{1} \quad 514 + 128 =$$

$$\textcircled{2} \quad 271 + 437 =$$

$$\textcircled{3} \quad 355 + 355 =$$

$$\textcircled{4} \quad 167 + 166 =$$

$$\textcircled{5} \quad 286 + 545 =$$

$$\textcircled{6} \quad 962 - 668 =$$

$$\textcircled{7} \quad 621 - 422 =$$

$$\textcircled{8} \quad 745 - 289 =$$

$$\textcircled{9} \quad 416 - 186 =$$

$$\textcircled{10} \quad 803 - 371 =$$